

「未来のリーダー教室」は、中高生が「リーダーシップ」「システム思考」「アート思考」「SF思考」の講座を通じて、リーダーシップを育む日産財団主催のプログラムです。2025年度は、前年度までの「導入編」「展開編」の二つを一つにし、受講者が講師と直接コミュニケーションをはかれる度合を高めました。

修了者たちによるアイスブレイク企画でうち解けた空気に

8月6日のDAY1。早稲田大学の会場に集まった受講者たちは、すこし緊張の表情を見せています。しかし、プログラムがスタートするとすぐ、今年度から司会役をつとめる修了者有志たち「アルムナイ企画委員」によるアイスブレイクの企画で、おたがいの共通点を探するなどして、すぐにうち解けた様子です。

その後の、マスター講師・池上重輔先生による「リーダーシップ」の講座でも、受講者は、リーダー像について「はじめがある人では」「ものごとを俯瞰してみられる人」などと積極的に自分たちの考えを挙げていました。



「リーダーシップ」の講座での受講者と池上先生のやりとり

東京都現代美術館で「アート思考」でのワークにのぞむ

8月20日のDAY2は、「未来のリーダー教室」で初となる東京都現代美術館での開催です。「アート思考」の講座は地階の講堂で行われました。マスター講師・栗田絵莉子先生と福村彩乃先生の導きにより、受講者たちが「世の中とリンクしてアイデアを考える」「鑑賞者に影響を与える作品を作る」という目標のもと、作品づくりにチャレンジ。チームで考えて定めたオリジナルテーマについて「ChatGPT」からヒントをもらって表現方法を考えるなど現代的な手法を用いました。広い作業スペースで、各チームの受講者たちが体を動かしながら、平面、立体、またツールを組み合わせた作品をつくりあげ、制作の意図などを他のチームの受講者と伝えあいました。また、マスター講師から「アート鑑賞」の資料が配られ、受講者は作品づくりや希望者たちによる展覧会見学に活用しました。



Day2「アート思考」での作品づくり

これに先立ち、研修室で、マスター講師・久村春芳先生による「システム思考」の講座にのぞき、システム思考の手法を駆使して「未来の食ビジネス」のモデル創出に挑みました。



「システム思考」の講座での発表

特別講師・伊藤賀一先生と「私たちはどう生きるか」を考える

9月15日のDAY3。早稲田大学の会場に特別講師として迎えたのは「スタディサプリ」講師の伊藤賀一先生です。受講者たちは、伊藤先生から「私たちはどう生きるか」というテーマの講演を聴きます。歴史のみならず公民など社会科全般の講師をつとめる伊藤先生から、当時くりひろげられていた自由民主党の総裁選挙を題材に、各候補の生い立ちなどが示されてから、「ここまで何か抜けてない…？」との問いが。受講者たちはリーダーを決めるとき重視すべきことについて、「描いている未来像かな」「国のためにどんな活動をしてきたかでは」などとディスカッションしました。さらに倫理の科目の延長として、伊藤先生の「悩み相談」の本の題材をもとに「私」「私たち」「社会」について考える講義を受けました。



伊藤賀一先生による特別講座の様子

特別講義に先立ち、受講者たちは、マスター講師・宮本道人先生による「SF思考」の講座にのぞみ、自分の夢と人の夢のかけあわせによる、新しい仕事・職業・肩書きづくりに取り組みました。



宮本道人先生による「SF思考」の様子

修了、そしてリーダーシップの実践へ

DAY3の終了後、受講者たちは日産財団理事長でもある久村先生から、「修了証」「受講証明書」が授与されました。

充実した雰囲気の中、受講者たちは、いつまでも会場の教室で、仲間になった者として話しあったり、講師に話しかけたりしていました。3日間を通じ、リーダーの力を身につけることを楽しもうとしている様子でした。

私たち日産財団は、若い世代のみなさんのリーダーシップを学ぶ姿勢や、修了者たちの身につけたことを実践する勇気を、これからも支援してまいります。